

2012年「新春のつどい」を開催！

沖縄市支部



一月二十八日(土)かりゆし園ホールに於いて、医療生協沖縄市支部と、中部協同病院との共催による毎年恒例の「新春のつどい」が開催されました。中部協同病院通所リハの与那好美さんが司会をつとめ、職員のかぎやで風で幕を開けました。

支部長あいさつでは「組合員と職員が、共に力を合わせて生協運動の前進を勝ち取っていただく」との訴えがあり、前支部長の根保 幸栄さんが「健康をつくる。平和をつくる。そして人々の協同で明るいまちづくりをすすめます。」と元氣良く乾杯しました。泡瀬千瀧を守る連絡会の小橋川共男協同代表の連帯挨拶の後、中部協同病院の仲間貞明事務長からは、病院が取り組んでいることや生協運動発展に向けての挨拶がありました。

余興では組合員さんによる舞踊や、かわいらしい子ども舞踊で舞台は盛り上がり、最後に抽選会で会場が一体となり、楽しい「つどい」は閉幕しました。職員の参加者は二十一名でした。会場設営から受付や接客、舞台の裏方・後片付けや清掃まで本当によく頑張ってくれました。

今年も、沖縄医療生協創立四十周年を迎えます。また、中部協同病院の二十五周年にもあたります。「組合員と職員の協同のとりくみ」は、一層重視されていきます。引き続き頑張っていきたいと思います。

(沖縄支部運営委員長 玉城栄史)



石川支部



去る2月1日(水)に石川産業センターにて行われた、石川支部の新春のつどいに参加しました。石川支部の組合員の方々をはじめ、中部協同病院の職員も参加し、会場は多くの参加者で賑わいました。舞台は、組合員さんによる三味線や舞踊、楽市楽座による紙芝居劇など、楽しいプログラムばかりでおいに盛り上がりました。また、最後の福引抽選会ではお米や野菜、日用品等、豪華な賞品が多くあり、会場の皆が一つになり、とても盛り上がりました。とても楽しい時間を過ごさせていただき、「来年もぜひ参加したい!」と思いました。

新春のつどいに参加したことで、地域組合員さん方のパワーを実感するとともに、沖縄医療生協職員として、これからも地域の組合員さん達と交流を深めていき、地域に根ざしたより良い病院をめざしていきたいと感じました。

(リハビリ室 西新屋佑太)

♪2012年元旦の正月食のご紹介♪

栄養管理室より、今年のお正月に出された入院食をご紹介します！患者様に喜んでもらえる様にと、今年も栄養管理室一同、心を込めて作りました。恒例のお正月料理の天ぷらは患者様にも好評で、気合いを入れて作ったかがありました。患者様の一年が良き年となりますよう、これからもおいしい食事を作っていきたいと思っております。



- 《内容》
- てんぷら (えび・いんげん・魚・なす・サツマイモ)
 - 煮物 (豚赤肉・昆布・かまぼこ・ごぼう・大根・花人参)
 - 小鉢 (金時甘煮・田いも)
 - 汁 (中身汁) • 果物

(栄養管理室 池間秀人)

通所リハビリ新年会

2月4日(土)2012年度デイケア新年会が開催されました。通所者及びその家族58名、職員、余興ボランティア等を含め総勢100名以上の参加者が集まりました。

プログラムは、デイケア職員のかぎやで風に始まり、嘉数事務次長による乾杯の挨拶。次にバシントイなどの寿ぎの踊りが琉舞、日舞と続きます。職員の余興はヘンテコな衣装に鍬、鎌を加えジギスカンの曲に合わせたマミードーマを踊り、大ウケでした。そして恒例のトシビースー。今年は参加した5名とも昭和3年辰年生まれで、85歳で、晴れやかなお顔で舞台に上がり、プレゼントの贈呈後、皆でお正月の歌を歌いました。戦争など大変な時代を生き抜き落ち着いた今の世の中を作ってくれた皆様にはいくら感謝しても足りません。新しい年を無事迎えることが出来、本当におめでとうございます。

さて、後半最も笑いをとった日本舞踊の六調節。題名からは想像できませんが、七福神の恵比寿様がふくよかなお体を歌に合わせてゆっくり舞台を歩きまわるというだけでしたが、その表情や動作が何ともおかしく自然と笑みが漏れます。新年早々、笑う門には福来る、ですね。その後可愛く凛々しい女子高生の三線グループ、ガンジュウ1番隊の演奏や石川の組合員さんによる琉舞、最後は久高友吉さん民謡グループによる民謡ショー、カチャーシーで舞台は華やぎ、大盛り上がりの終演となりました。

昼前まで寒くて心配でしたが、天候にも恵まれ、会場は熱気に溢れ、一足先に春の気分を味わえた、すばらしい新年会となりました。今年も貴重な時間をさいてご協力くださいました、職員ボランティア、余興ボランティアの皆様にはこの場を借りてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

今年も通所者を含め組合員さん、職員ともども健康に留意しながら元気に過ごしていきましょう。
(通所リハビリ室 垣花 サエ子)



退職します

皆さんこんにちは。在宅介護及び居宅介護支援事業所の長浜 照代です。この度、退職することになりました。沖縄協同病院、中部協同病院建設段階から係わり、すでに三十年を経過している事に自分ながらよく頑張ってきたなあ〜と感心やら感激やら、不思議な感動を味わっています。

三階病棟・外来と勤務し、平成十一年十一月に在宅介護支援センター二代目所長として配属して以来同じ部署で働いてきた事で、民生委員の方や自治会長とも知り合いになれ、お陰様で沖縄地域の現状を把握することも出来、医療生協には感謝しています。十八歳の時、パスポート片手に神戸へ行き、大阪で看護学校を卒業後、帰郷して現在まで、まるで走馬灯の如し。今後は、地域に溶け込んだ施設「有料老人ホーム・後援」と「デイサービス浜さん家」を目指し、第二の人生を頑張っていきます。これから何かとお世話になるかと思いますが、お互いに健康に留意しながら頑張ってください。組合員、職員の皆さん、本当にお世話になりました。



(在介 長浜 照代)

医事課体験実習

今回、中部協同病院で実習を行った沖縄中央学園の佐々木 貴菜です。最初は不安で緊張していましたが、患者様も職員の方々も優しい方達ばかりで、不安はすぐなくなりました。実習では主に受付を行い、多くの患者様と交流を持つことができました。学校ではテキストや試験対策が殆どだったので、実際の現場で人を相手に仕事をする事の難しさや、受付や会計以外にも多くの仕事があることを知りました。通常業務以外でも、犬尾先生のAED講習やバレンタイン行動にも参加し、普通の実習では体験出来ないことばかりでとても勉強になりました。

今後は医療事務の知識を更に深め、正しい言葉遣いや接客マナーを身につけていきたいです。今回、中部協同病院で実習が出来て本当に良かったです。患者様や職員の皆様、本当にありがとうございました。

一ヶ月お疲れ様です♪



(沖縄中央学園 佐々木 貴菜)

バレンタイン行動に参加して



皆さんこんにちは。沖縄中央学園から医事課実習で来ました、佐々木 貴菜です。去る二月八日、読谷村で行われたバレンタイン行動に参加しました。バレンタイン行動では、原発に関するアンケートチラシ(チョコ付き)を配りながら、血圧や体脂肪率を測るなどの健康チェックをしました。

この日は曇りで、配るチラシが飛んでいってしまう程風が強く、寒い日でした。健康チェックを始めると、最初は寒さのせいで立ち止まってくれる人は少なかったですが、チラシを配りながら呼び込みむうちに、人も次第に増えていきました。

健康チェックを受けていたのは、高齢者の方や若い方、親子で来てくれた方もいました。そして、健康チェックが終わった後の帰り際に、みんな「ありがとう」と笑顔で言ってくれて、とても嬉しく感じました。バレンタイン行動では、普段関わりの少ない部署の方々や、地元の組合員の方達と一緒に参加でき、楽しく活動することが出来ました。なかなか出来ない体験だと思っているので、参加できてよかったです。

今回のバレンタイン活動に参加出来たことをよいきっかけとし、私も普段から健康を意識していきたいと思えました。
(沖縄中央学園 佐々木 貴菜)